

# ご門主交代



五日十八時より非公開で行われたご譲渡式の様子。「御鍵」(親鸞聖人お厨子の鍵)「御印」(宗務に使用するご門主の公印)などが譲渡された。

## 西教寺報

118号  
 仏歴2558(2014・平成26)年  
 7月13日発行  
 呉市中央7-7-13  
 西教寺蔵本通支坊  
 TEL 0823 (21) 2798  
 FAX 0823 (21) 2795  
 www.saikyoji.net  
 郵便振替番号  
 01340-3-29117  
 宗教法人西教寺

去る六月五日と六日、浄土真宗本願寺派ご門主交代にともなう一連の法要にお参りしてきました。

五日は、二十四代釈即如(大谷光真・68)門主が退任されるご消息発布式でした(二頁に「退任に際しての消息」参照)。また、翌六日は釈専如(大谷光淳・36)新門が二十五代門主となる法統継承式でした。「法統継承」とは「法義の伝統を継承する意。雨模様でしたが八千名が参詣しました。今回は本山より一ヶ寺一名との指示で新任職(智寧)が代表でお参りしましたが、しばらくすると皆さんともにお迎える伝灯奉告法要があるそうです。その時は、ぜひいっしょにお参りいたしましょう。

註①ご消息(しようそく)＝さまざまなか縁に際し歴代の宗主がそのお心を広く伝えるため出された書簡。

## 法統継承に際しての消息

本日、私は先代門主の意に従い、法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主に就任いたしました。

ここに先代門主の長きにわたるご教導に深く感謝しますとともに、法統を継承した責任の重さを思い、能う限りの努力をいたす決意であります。

釈尊の説き明かされた阿弥陀如来のご本願の救いは、七高僧の教えを承けた宗祖親鸞聖人によつて、浄土真宗というご法義として明らかになされ、その後、歴代の宗主方を中心として、多くの方々に支えられ、現代まで伝えられてきました。その流れを受け継いで今ここに法統を継承し、未来に向けてご法義が伝えられていきますよう、力を尽くしたいと思います。

宗門の過去をふりかえりますと、あるいは時代の常識に疑問を抱かなかつたことによる対応、あるいは宗門を存続させるための苦渋の選択としての対応など、ご法義に順つて(次頁へ)